

一次救命処置の研修を行いました

4月5日、日本赤十字社 大分県支部 北島 純子 講習普及係長に、講師をお願いし、一次救命処置、AED についての研修を行いました。



周囲の状況を確認、バイタルサインの確認など、一次救命処置の基本を学びます。また、コロナ禍での一次救命処置についても教えていただきました。飛沫に注意する方法を学びます。

うつ伏せで倒れていることが多く想定されるので、傷病者を仰向けにする仕方も。



子どもたちが安全に過ごすことが最も大切ですが、知識として胸骨圧迫やAEDの使い方などを得ておくことも大切です。いつ、どこで緊急時の対応を求められても対応できるよう、一同熱心に取り組んでいました。



昨年度末、2台目のAEDを大学に購入していただきました。「できる限り早く」AEDを届けるための環境も少しずつ整えてい